

すべての設問に關して、句讀点は字數に含みます。

一、次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

わたしたちのまわりには、海のおくりものがいっぱいです。魚やこんぶ、それに塩。  
それだけでも、なんとゆたかなおくりものでしょう。なんとさまざまな食品に、海の幸  
がしのびこんでいることでしょう。

塩は、人間や動物が生きていくのに、なくてはならない物質です。水や空気とおなじほ  
どにたいせつです。

### 毎日の食卓をながめてみましょう。

おみそ汁にもチャーハンにも、パンやスナックなどのおやつにも、わたしたちが口にする  
ほとんどすべての食品に、海の産物がつかわれています。

「たまご」にも、海がはいつていますよ。と、二ワトリをかつている農家の子がいいました。

「牛も、海となかよしですよ。」と、牛をかつている農家の子がいいました。

おいしいたまごを産むために、二ワトリも、魚の骨や貝がらを食べています。おいしい  
肉をつくるため、牛や豚のえさの中にも、イワシやエビがまじっています。

お米や野菜やB果物は、ゆたかな土にそだちます。そのゆたかな土をつくるため、肥料  
にも魚や貝や海藻が大活躍をしています。

このように、海は大地もやしなつているのです。

海はまた、ちがつたおくりもので、わたしたちを助けます。

「波や潮」という、水の力のおくりものです。

それというのもわたしたちの生活は、外国からのコモロウ品にたよっています。

1 石油を考えてみましょう。電気やガス、ガソリンなど、くらしに欠かせないエネ  
ルギーは、ほとんど石油にたよっていますね。その石油からプラスチックも化学せんいも、  
さまざまな薬品もつくられます。衣類にも洗剤にも化粧品にも、石油はつかわれていま  
す。

石油ばかりではありません。鉄や亜鉛などの鉱物も、木材も、食料も、日本は外国から  
大量にユニークしています。それらはどのようにして運ばれてくるのでしょうか。船に積ま  
れ、海の波に乗り、水の力を借りながら、日本の港へ運ばれてきます。自動車や鉄道や飛  
行機では、とても考えられないような大きな荷物も重いものも、大量の品々も、海は水に  
乗せ、どこまでもどこまで運んでくれます。

ですからあなたの下着も洋服も、靴下も靴も、ノートや鉛筆、ランドセルも、テレビ、  
電卓、ゲーム機も、みな 海の力のおかげです。

もっと大きなおくりものがありますよ。雨や雪。つまりは「水」のおくりものです。

あなたは雨が、どうしてふるのか、考えたことがありますか。

空を仰いで、「らんなさい。雨はどこからふつていいのでしょう。円からふつてくる  
のでしょうか、それとも火星からでしょうか。

なるほど雨は、空からふつてきますね。でも、そのおおもとの水は、どこからくるので

しょうか。

雨は、海からやつてきます。

海の水があたためられてロジョウハツし、上空でE冷やされて雲になり、雨やあられや雪になつて、地上に落ちてくるのです。雨は、海のおくりものです。

その雨を、森林や水田がうけとめます。その水は土にしみこみ地下水になり、やがて下流にわき出て川の水になりますね。それをダムでせきとめて、水路やパイプで引いてくる。それが水道の水、わが家のじゃぐちの水ですね。

2 あなたがつかつたその水は、最後はどこへ行くのでしょうか。下水道から川へ出て川の水になり、やがて海にはき出されて海の水になりますね。そして海の魚たちをやしないます。その水はまたジョウハツし、上空で冷やされて雲になり、雨や雪となつて地上にふつて、また川の水になり、わが家のじゃぐちに運ばれてくるのです。

このように水は循環しています。ぐるぐるとまわるそんな 水の旅をとおして、海は海の生きものたちと陸地の生きものたちと両方を、やしなつているのです。

そうです。海はあるゆる生命のやしない手です。そしてわたしたち人間も、陸地にすむ動物も植物も、もともとは、海のおくりものでした。

いまから三十五億年のむかし、まだ地球が若かつた時代、最初の生命が海から生まれたのでした。やがて生命はふえ、進化し、長い長い年月の末に陸地に上陸します。そのようにして陸地の森林も生まれ、恐竜も生まれ、わたしたち人間も生まれてきました。『母なる海』とわたしたちはよくいいます。海はすべての生命にとって、ふるさとだったのです。わたしたちが いまも海をなつかしく思つたり、海にあこがれたりするのも、きっとそのためにはちがいありません。

わたしはこれから、その母なる海と人間との、長い長いつきあいの歴史について、日本を中心に、お話を書いていきます。先祖たちがどのようにして海とたたかい、海のめぐみを受け、海の力を借りながら生きてきたか、そしていまも海辺の漁民たちがどのようにして海を守ろうとしているか、その知恵や苦心についてお話ししていきます。  
それとも、母なる海はいま、人間による破壊のために苦しんでいます。「もっとなかよくして。」と訴えているからです。

( 富山和子『海は生きてくる』)

空を仰いで… 空を見上げて

問一 一重傍線部A～Eの、漢字は読みを、カタカナは漢字を答えなさい。  
問二 空欄1、2の中に入る適切な語を次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア しかし イ つまり ウ たとえば エ では オ だから

問三 傍線部 「海のおくりもの」とあります、本文で述べられている「海のおくりもの」に当てはまらないものを次のなかから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 塩 イ 靴下 ウ 火星 エ 人間

問四 傍線部

「毎日の食卓をながめてみましょう」とあります。そのように書く筆者の目的は何ですか。最も適当なものを次のAから一つ選び、記号で答えなさい。

A 読者に、口にするほとんどの食品に海の産物が入っていることを気づかせる目的。

B 読者に、牛や豚のえさの中にも海の産物が入っていることを気づかせる目的。

C 読者に、お米や野菜などは海の産物でつくられた土で育つことを気づかせる目的。

D 読者に、海が人間や動物だけでなく大地もやしなつていることを気づかせる目的。

問五 傍線部 「たまごにも、海がはいつていますよ」とは、どういふことですか。本文の言葉を用いて、三十五字以内で答えなさい。

問六 傍線部 「海の力のおかげ」とは、どういふことですか。最も適当なものを次のAから一つ選び、記号で答えなさい。

A 海のおかげでわたしたちの生活に必要な石油が手に入るといふこと。

B 海のおかげでわたしたちの生活に必要な鉱物が手に入るといふこと。

C 海のおかげでわたしたちの生活に必要な品々が手に入るといふこと。

D 海のおかげでわたしたちの生活に必要な食料が手に入るといふこと。

問七 傍線部 「水の旅」の内容が書かれている部分の最初と最後の五字を抜き出して答えなさい。

問八 傍線部 「いまも海をなつかしく思つたり、海にあこがれたりする」のは、なぜですか。「～ため」に続く形で本文から一十字で抜き出して答えなさい。

問九 次の各文が、本文の内容と合っていれば、異なつていれば×と答えなさい。

1 海の生きものはお米や野菜などをそだてる大地をつくっている。

2 石油はエネルギー源としてもわたしたちの生活に欠かせないものだ。

3 地球温暖化が進めば今よりも海があたたまり、雨の降る量が増える。

4 海は海の生きものたちをやしない、陸の生きものはやしない。

5 最初の生命は海で生まれ、その後陸地で生活できるように進化した。

二、次の文章は、小森真弓氏著の『きのうの少年』の一節である。主人公のアキが子ネコを数匹拾つた。一匹だけを残してみんなもらわれていった。その一匹は足首部分が靴下をはいているように白いので、ソックスと名付けられた。ある日、アキはソックスを連れて、友達のケイトと一緒に魚釣りに出かけた。その時に釣れた魚をケイトがソックスに食べさせようとした。この続きを読み、以下の問いに答えなさい。

チエツとケイトはA舌打ちして、魚を池にもどした。ソックスがアキの肩に上がりてくる。

「くすぐったいってば」

ケイトがソックスの首をつまんで、アキからはがした。ソックスは、あわてたよつて手足をぱたつかせ「ミー、ミー」と情けない声を出している。

「そんな 持ち方しないで」

「なんですか。ネコはこうやって持つんだぜ。ウサギだって耳、持つじゃん」  
ケイトは首を持つてぶらさげたまま、ソックスの顔を見てブツと吹き出した。

「ほんと、こいつバスだよな」

アキは□した。

「そんな言い方しないで…返して」

アキはケイトの手からソックスを取り上げた。

「自分だけ、最初、笑ってたくせに」

「笑ってない」

「笑ってた」

ソックスが「ミヤン」と鳴いた。ケイトが頭をポンとたたく。

「なんでたたくの！」

「さわっただけだろ」

「たたいたじゃん」

ケイトは、あきれたように鼻を鳴らした。  
「アホらし。なに、ムキになつてんだよ」

そう言って、さっさと竿さおを片づけはじめた。

「川、行こ」そいつ、家に置いてこいよ

「連れてく」

「じゃまだろ」「じゃまじやないもん」

「置いてこい」

「じゃ行かない」

ケイトの動きが止まる。腕うでの中でソックスが、また「ミヤン」と鳴いた。

「勝手にしろ」

「アキ…」

いきなりとうさんが現れた。走ってきたみたいだ。

「帰つたら、子ネコがいないからびっくりしたよ」

意味がわからなかつた。こんな時間に、どうしてとうさんは家にいたんだろう。

「四時過ぎに約束してるんだ。午前中、連絡があつて

えつ……。

「飼い主が見つかったんだよ」

とうさんはフェンス越しに手をのばすと、アキの腕から、ソックスを持ち上げた。ケイ  
トがさつきしたように、首をつまんで腕に抱きとつた。

「わざわざ来なくてもいいぞ」

とうさんは急いで家にもどつていつた。あつという間もなかつた。ソックスは、あつけ  
なく連れていかれた。手にはまだ、ぬくもりが残つてゐる。アキは突つ立たつたまددつた。  
急に両手がり手持ちぶさたで、あわててパークーのポケットに入れた。だけど、そこにも  
ソックスのぬくもりが残つてゐる。

アキはポケットの中で、手のひらを強くにぎりしめた。

「見てこいよ」

ふいに背中で声がした。いつのまにか、ケイトはもうフェンスの向こうにいた。ペダルに足をかけて、アキを見ている。空から風が降りてきた。足もとの枯れ葉が騒ぐ。遅い午後のB日差しの中、羽虫が無数に飛んでいる。アキは黙つてフェンスを越えた。

「見てこいよ」

ケイトは、もう一度言つた。

「なに見んのよ」

アキはケイトをにらんだ。声がこわばつているのが、自分でもわかる。

「新しい飼い主に決まってんだる。ちゃんとあいつを、かわいがってくれそうな人かさ」言い終わらないうちに、ケイトはペダルを踏みこんだ。自転車は川に向かつて、小径を曲がる。アキは重い足取りで、家に向かつて歩き出した。

家の前に、とうさんと男の人がいた。あの人が、ソックスの飼い主になる人だろうか。ちょっとと、イガイな気がして、アキは近くまで行つた。

男の人はソックスを抱いて、耳の後ろをなでていた。顔はまるくてメガネをかけていて、全体的な雰囲気も、どこかまるい感じがした。アキはじっとソックスを見ていた。ソックスは目をD閉じて、のどを鳴らす音が聞こえてきそうだ。男の人はアキに少し会釈すると、行つてしまつた。

「よかつたな。いい人がもらつてくれて」

「なんで、いい人なんてわかるの」

アキはEモンクを言つた。とうさんは聞こえなかつたようで、そのまま家に入つていつた。

「なんで、いい人なんてわかるの」

アキは動かなかつた。今は家に入りたくない。ふと顔を上げると、さつきの男の人がもうつてくるのが見えた。忘れ物でもしたんだろうか。男の人は、アキの前で立ち止まつた。明らかに何か用があるみたいだ。

（小森真弓『きのうの少年』）

笑つてない…この場面より以前に、「アキ」は「ソックス」を笑つてゐる。

問一 一重傍線部A～Eの、漢字は読みを、カタカナは漢字を答えなさい。

問二 波線部a「鼻を鳴らした」、b「手持ちぶさた」の意味として適當なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

a 「鼻を鳴らした」

イ 驚いた

ウ 慢した

エ なぐさめた

ア 馬鹿にした

b 「手持ちぶさた」

イ 心配であり他のことができない様子。

ウ することができなくて間がもたない様子。

エ 見ていてはらはらしている様子。

急に態度を変えてしまう様子。

問三 傍線部 「持ち方」について、以下の問いに答えなさい。

(1) どのような持ち方ですか。本文中の言葉を用いて、十字以内で答えなさい。

(2) この持ち方と同じ持ち方をした人を本文中から抜き出して答えなさい。

問四 傍線部 「なんでたたくの！」とアキが怒った理由として最も適当なものを次の中

から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ケイトのことが昔からきらいだから。

イ ソックスのことを大切にしないから。

ウ 以前に笑つたことを指摘されたから。

エ ケイトにヤキモチを焼いているから。

問五 傍線部 「アキ！」は誰だれが言つた言葉ですか。最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ケイト イ とうさん ウ 男の人 エ ソックス

問六 傍線部 「手のひらを強くにぎりしめた」とあります、この時のアキの気持ちとして適当でないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア くやしさ イ 情けなさ ウ 喜び エ いらだち

問七 傍線部 「なに見んのよ」と、家に行くことに積極的ではなかつたアキが、その後家に向かつて歩き出したのはなぜですか。その理由を本文中の言葉を用いて、三十五字以内で答えなさい。

問八 空欄の中に入る適切な語を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア むつと イ ほつと ウ あつと エ じつと

解答

一  
問一 A さち B くだもの C 輸入 D 蒸発 E ひ  
問二 1 ウ 2 ハ  
問三  
問四 ア ウ  
問五 たまごを産むためヒロコが魚の卵や虫がいを食べてエネルギーを得る。(33回)  
問六 ウ  
問七 海の水があさるのです。  
問八 海はすべての生命にとって、ふるやけどだつた  
問九 1 × 2 × 3 × 4 × 5 ×

二  
問一 A したじ B ひざ C 意外 D と E 文句  
問二 a ハ b イ  
問三 (1) 首をつまむ持ち方。  
(2) とつせん

問四 イ  
問五 イ  
問六 ウ  
問七 イ  
問八 ア  
新しい飼い主がソックスをかわいがつてくれそつな人かどうか確かめるため。